

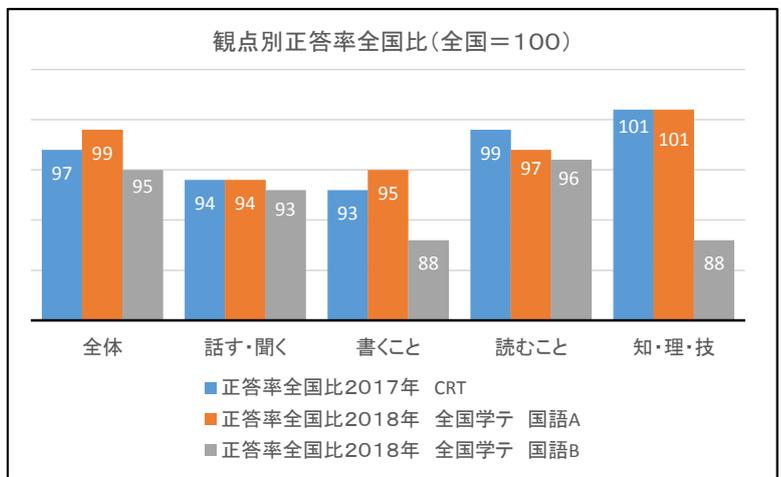
平成30年度 全国学力・学習状況調査 結果 国語

境港市立第二中学校

【評価について】 A：全国平均との差が+3%を超える B：全国平均と同等から+3%まで
C：全国平均との差が-3%まで D：全国平均との差が-3%を下回る

【集計結果】

分類	区分	国語A					国語B				
		平均正答率 (%)			全国比	評価	平均正答率 (%)			全国比	評価
		二中	県	全国			二中	県	全国		
	全体	75	76	76.1	99	C	58	60	61.2	95	D
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	71.0	74.2	75.2	94	D	71.4	75.8	76.6	93	D
	書くこと	70.1	72.7	73.9	95	D	27.7	29.7	31.3	88	D
	読むこと	74.5	75.5	76.7	97	C	51.6	52.3	53.5	96	C
	伝統的な言語文化と国語との特質に関する事項	77.2	77.3	76.5	101	B	43.5	46.9	49.2	88	D
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	/	/	/	/	/	46.4	48.9	50.3	92	D
	話す・聞く能力	71.0	74.2	75.2	94	D	71.4	75.8	76.6	93	D
	書く能力	70.1	72.7	73.9	95	D	27.7	29.7	31.3	88	D
	読む能力	74.5	75.5	76.7	97	C	51.6	52.3	53.5	96	C
	言語についての知識・理解・技能	77.2	77.3	76.5	101	B	43.5	46.9	49.2	88	D
問題形式	選択式	76.2	76.9	76.8	99	C	64.1	65.8	66.7	96	C
	短答式	73.9	75.0	74.7	99	C	/	/	/	/	/
	記述式	/	/	/	/	/	46.4	48.9	50.3	92	D



【領域・分野別の分析】

国語A (主として知識)

区分	考察事項 (○…比較的できているところ △…あまりできていないところ)
話すこと・聞くこと	○「話の論理的な構成や展開などに注意して聞く」の設問では、正答率が高い。 △「話し合いの話題や方向を捉える」「話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す」の設問では、正答率が低い。
書くこと	○「書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する」の設問では、正答率が9割を超え、全国平均をやや上回った。 △「伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く」「書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する」の設問では、正答率が低い。
読むこと	○「文脈の中における語句の意味を理解する」の設問では、正答率が高い。 △「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」の設問では、正答率が低い。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える」「接続詞の働きについて理解する」の設問では、正答率が高い。 ○漢字に関する設問では正答率が高く、全て全国平均をやや上回った。

国語B(主として活用)

区分	考察事項 (○…比較的できているところ △…あまりできていないところ)
話すこと・聞くこと	○「質問の意図を捉える」「話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する」の設問では、正答率が高い。 △「全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す」の設問では、正答率が低い。
書くこと	△「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」「相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く」の設問では、正答率が低い。
読むこと	○「場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する」の設問では、正答率が高い。 △「文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える」「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」「相手に伝わるように、あらすじを捉えて書く」の設問では、正答率が低い。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	△「相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く」の設問では、正答率が低い。

【指導改善・取り組みの重点など】

○「話すこと・聞くこと」…相手の主張と根拠について自分の考えと比較しながら、正確に聞き取るようなペアまたは少人数グループの活動を設定する。話し手と聞き手の両者が話し合いのゴールを意識することや、司会の役割について具体的にイメージすることができるよう、CD教材等によって模範となる例を提示し指導する。

○「書くこと」…事前に「読むこと」の単元と関連させて、相手にわかりやすく伝えるための文章の構成や表現方法について理解し、自分の作文へつなげるような学習を設定する。また、提示された資料について、さまざまな立場や視点を設定しながら分析したり、根拠となるデータや文章を自分の言葉でわかりやすく書き表したりする学習経験を増やしていく必要がある。

○「読むこと」…物語文では、細部（情景描写）に注目した後に全体へと視野を広げ、あらすじの展開や心情の変化を捉えるような活動を工夫する。説明的文章では、事実と意見、中心的な部分と付加的な部分（具体例や引用）を読み分けたり、基本的な文章の構成（序論・本論・結論）を意識して読んだりする学習経験を増やしていく。

○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」…全ての領域に関連しているため、漢字・語句・文法事項について、継続的に復習する場面を設定する。さらに生活のさまざまな場面を想定し、実際の活用へとつなげていくよう指導する。

【生徒のみなさんへ】

話すこと・聞くこと

話し合う目的を意識して、相手が「どんなことを主張しているか」「どんな理由をあげているか」に注目しながらメモをとる習慣を身につけましょう。学級・委員会・部活動などの場面で活用することができます。司会を務める場合は、話し合いが効果的に進行するよう、参加者それぞれの意見を整理したり、話題がそれたりしないよう、展開に注意しましょう。

書くこと

説明するために必要な部分を文章から抜き出して、目的に合わせて書き直したり、グラフや図表の数値を自分の言葉で書き表したりする練習を積み重ねましょう。理科や総合的な学習の時間におけるレポートの作成にも活かすことができます。20～30字程度の短文作りでは「主語・述語」「文末表現」等に注意し、400字以上の作文では「序論・本論・結論」といった全体の構成を意識して書いてみましょう。

読むこと

物語文では、人物の心情の変化が行動やせりふだけでなく、風景にも表れていることがあります。説明的文章では、多くの場合「筆者の意見を簡潔にまとめて述べた部分」と「具体例を挙げて詳しく説明している部分」とが組み合わせられた構成となっています。各段落ごとに内容を整理しながら読みましょう。「接続詞」や「指示語」に注目することも、文章の構成を理解するヒントになります。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文章を読むことに慣れ親しむために、読書の習慣は欠かせません。比較的読みやすい小説からスタートしましょう。さらに、各学年の教科書になる「読書案内」で紹介されている本や、学校図書館にある文学以外のさまざまなジャンルの本に挑戦しましょう。読書経験を積み重ねていくと、意味を知っている言葉だけでなく、自分で使いこなせる言葉が増えていき、文章や会話がより表現豊かなものになります。

		話す・聞く	書くこと	読むこと	伝国
正答率全国比2017年	CRT	94	93	99	101
正答率全国比2018年	全国学テ 国語A	94	95	97	101
正答率全国比2018年	全国学テ 国語B	93	88	96	88

		全体	話す・聞く	書くこと	読むこと	知・理・技
正答率全国比2017年	CRT	97	94	93	99	101
正答率全国比2018年	全国学テ 国語A	99	94	95	97	101
正答率全国比2018年	全国学テ 国語B	95	93	88	96	88